

4283



シノ其拙我ヲ輕視侮慢シテ百事其難弄ヲ受クルニ至  
ル沿襲ノ久シキ餘弊今尚存シテ而シテ人視ニ以テ之  
ヲ常トスルモノアリ是レ實ニ商權ヲ彼レニ歸スル所  
以ニシテ其之レヲ致スモノ固ヨリ我レニ在リト謂ハ  
カハヘカラス然ラハ則今ニシテ之ヲ復スレモ亦唯我  
カ勉強ニ在テ能ク其業ニ精シク其言ヲ信アリテ苟モ  
旧習ヲ改良スヘキモノアルヲ見レハ敢為之レニ當リ  
剛毅之レヲ成スノ氣象ヲ發達スルニ在リテ決テ空理  
ヲ論シ虚榮ヲ求ムルノ間ニアラサルナリ抑モ智識ト  
資カトハ商勢ノ赴ク所タリト云氏今ヤ萬邦軌ヲ同フ  
シ百度揆ヲ一ニスルハ機ニ會シテ散テ彼我ノ小軒輕ニ  
區々シテ以テ進取ノ念ヲ防碍スヘカラス是レ我儕カ  
此聯合生糸荷預所ヲ設立セント欲スルノ素志ナリ若

シ夫レ生糸ノ我カ輸出品中最要ノ部ヲ領シテ而シテ  
従来其販賣ノ方法ニ於テ言フヘカラサルノ惡弊アル  
カ如キハ世人ノ熟知スル所タルヲ以テ敢テ此ニ喋々  
スルヲ須ヒサルナリ冀クハ同業ノ諸君我儕ノ微衷ヲ  
諒察シテ贊成スル所アレヨ

明治十三年十月

癸起人某等敬白

組合生糸荷預所要旨

第一條 當荷預所ハ第四條連名組合者協議各自營業トスル生糸及  
出売繭屑品等貯蔵為メ設置場所タルヲ以テ組合生糸荷  
預所ト称ス可シ

第二條 此ノ荷預所組合ニ連ナル者ハ横濱港内ニ店舗ヲ開キ現ニ生糸及  
附屬品等外國商店へ賣込業ヲ所謂賣込所屋ト唱テ所屋ト唱テ営業者ニ限ルヘシ

第三條 組合生糸荷預所ハ横濱〇〇〇設置ス可シ  
第四條 荷預所資本金三萬圓ト定メ之ヲ社中ヨリ募集シ該金ヲ  
三十株ニ分テ一株ヲ金千圓トシ其株主ニ連ナル者左ノ人名株高ノ通  
リタルヘシ

〇株 誰  
〇株 誰

第五條 荷預所締約組合ノ年限ハ滿五ノ年間ト相定メ滿期ニ至リ其ノ

永続解約トモ更ニ社中ノ決議ヲ以テ評決スヘシ

第六條 此組合ニ連ナル株主ハ何等事故アルトモ荷預所解散ノ期至ラサル時間ハ該株主金ヲ取戻シ組合ヲ脱ス可ラス

第七條

荷預所組合株主其所持株式他人ニ(組合外ノ人ヲ云フ)譲与又ハ賣買ヲ為ス可ラス尤モ自己都合ヨリ第二條記載ノ賣込營業ヲ廢停等不得止場合ニ於テ組合株主中譲与スル此ノ限ニ非ス然ルハ其次第ヲ荷預所ニ申出テ頭取兼諾ヲ得タル止其事ヲ取行可シ

第八條

右場合ヲ以テ所持株式ヲ悉皆他人ニ(組合中ノ者ヲ云フ)譲与セシ時其ノ者ハ此組合ヲ除名スベシ

第九條

第二條第四條第七條記載ノ通り組合加入及株式引受ケ譲与方ヲ定ムる氏追テ生糸賣込營業ヲ當港ニ閉店シ此ノ組合ニ加入テ望者アル時ハ社中協議上新加入ヲ許ス事モアルヘシ

第十條

右ノ手續ヲ經テ新加入兼認ヲ得此ノ組合ニ連ナル者ハ必ス一株以上

ノ株式ヲ所有シ荷預所諸規則ヲ遵守スヘシ

第十一條

前條ノ場合ヲ以テ新加入者所有スヘキ株式割与方ハ組合中ノ持ル株式高内ヨリ社中ノ決議ヲ以テ其幾分ヲ譲与スヘシ其株式ハ元

第十二條

金額ニ不拘荷預所景状ニヨリ相當ノ價額ヲ以テ其譲渡シラスヘシ組合各貨主ヨリ預リタル生糸及附屬品ヲ貯藏スヘキ為メ堅牢ナル倉庫ヲ設クヘシ此ノ倉庫ハ非常保險ヲ為シ得ヘキ様建設スヘシ

第十三條

預荷貯藏ノ倉庫建設ノ諸入費ハ資本金ヲ以テ仕拂ヒ殘餘ノ金額アレハ公債證書ヲ買入備置クヘシ若シ又荷預所景状ニヨリ倉庫等増築ノ為メ不足金ヲ生シタル時ハ尚資本ヲ増額シ株主ニ應シ其ノ出金ヲ為ス可シ

第十四條

社中ノ者荷受主トナリ各地方ヨリ外國ニ輸出又ハ内外商人ニ賣却為メ或ハ自家營業ノ為各地ニ於テ買取當港ニ輸入シタル生糸及附屬品ハ悉皆荷預所倉庫ニ蔵置スヘシ

但シ見本トシテ自家ヲ取品類ハ左ノ数量ノ通り

提糸

打返

器械

第十五條

前條ノ手續ヲ以テ當港ニ輸入品物ハ何等事故都合アルモ記載見本品ノ外ハ聊タリモ決シテ自店ニ貯蔵為ス可カラズ

第十六條

社中者社外ノ入り生糸及ヒ附屬品等當港ニ於テ買入候時其品物ハ總テ荷預所ニ貯蔵スヘシ

第十七條

荷預所ハ預貨物品名貫目等詳記シタル預リ証書ヲ貨主ニ附与シ追テ其証書ヲ換ニ該貨物ヲ引渡スヘシ尤モ倉庫料(積敷)其ノ他貨物出入取扱方ハ倉庫貨物取扱規則ヲ設ケ其規則ニ從ヒ其取扱ヲ為ス可シ

第十八條

荷預所ハ各貨物主ヨリ生糸及ヒ附屬品ヲ預リ候節ハ箇毎ニ

品位ヲ調査シ品位ノ不同無之様前以テ荷主ニ申談シ精々注意スヘシ

第十九條

右品位ノ調査方ハ先般改澤喜作洋行ノ際購求候器械ヲ御貨液ニ相預荷預所ニ設置シ器械系其他トモ品位ヲ調査シ追々歐米輸出品ハ高評ヲ以テ賣買出来候様尽カスヘシ

第二十條

荷預所ハ第十四條記載見本品ヲ荷主ニ相渡シ候節ハ該荷物品位ノ平均ヲ見做シ其中等品ヲ渡スヘシ

第二十一條

荷預所ハ荷受主トナリ又ハ内外商人間ニ立入賣買ノ取扱等決シテ為ス可カラズ

第二十二條

荷預所ハ社外人ノ貨物ニ切預ル可ラス尤モ社中者所有ノ諸品ヲ社外人買受ケ候方ハ此限リニ非ラズ

第二十三條

各地方貨主ヨリ送致ノ諸品社中者荷受主トナリ當港ニ輸入ノ物品貯蔵中荷預所ハ該荷受主ヲ總テ貨主ト見做シ該貨物ニ

付ラ照會締約等為スヘシ

第廿四條 荷預所ハ預リ貨物非常保險ノ方法ヲ内國人又ハ外國人ニ照會豫  
致シ置非常保險ヲ云々

第廿五條 荷預所ハ倉庫ヘ搬置ノ諸品追テ内外商人ニ賣却方締約  
ノ上其ノ品物受渡シハ總テ荷預所ニ於テ取行フヘシ

第廿六條 商業上何等事故都合アル品物検査買目改等賣買上貨物  
受渡シニ付要領ノ手續完結セラル内ハ貨物ヲ賣却先ハ送致又ハ  
持多ク等為ス可カラズ

第廿七條 賣買ノ部貨物受渡シニ相用候儀ハ英國用 衡風袋ハ  
金巾製ト相定ノ衡風袋トモ荷預所用具ヲ以テスヘシ

第廿八條 生糸及廢斗糸〇〇ノ類受渡シニ相用候儀ハ金巾製ヲ  
去クニ付目方〇〇〇ノ目ト相定ノ量目輕重大小等不同無之  
様荷預所ニ於テ製調置クニシ

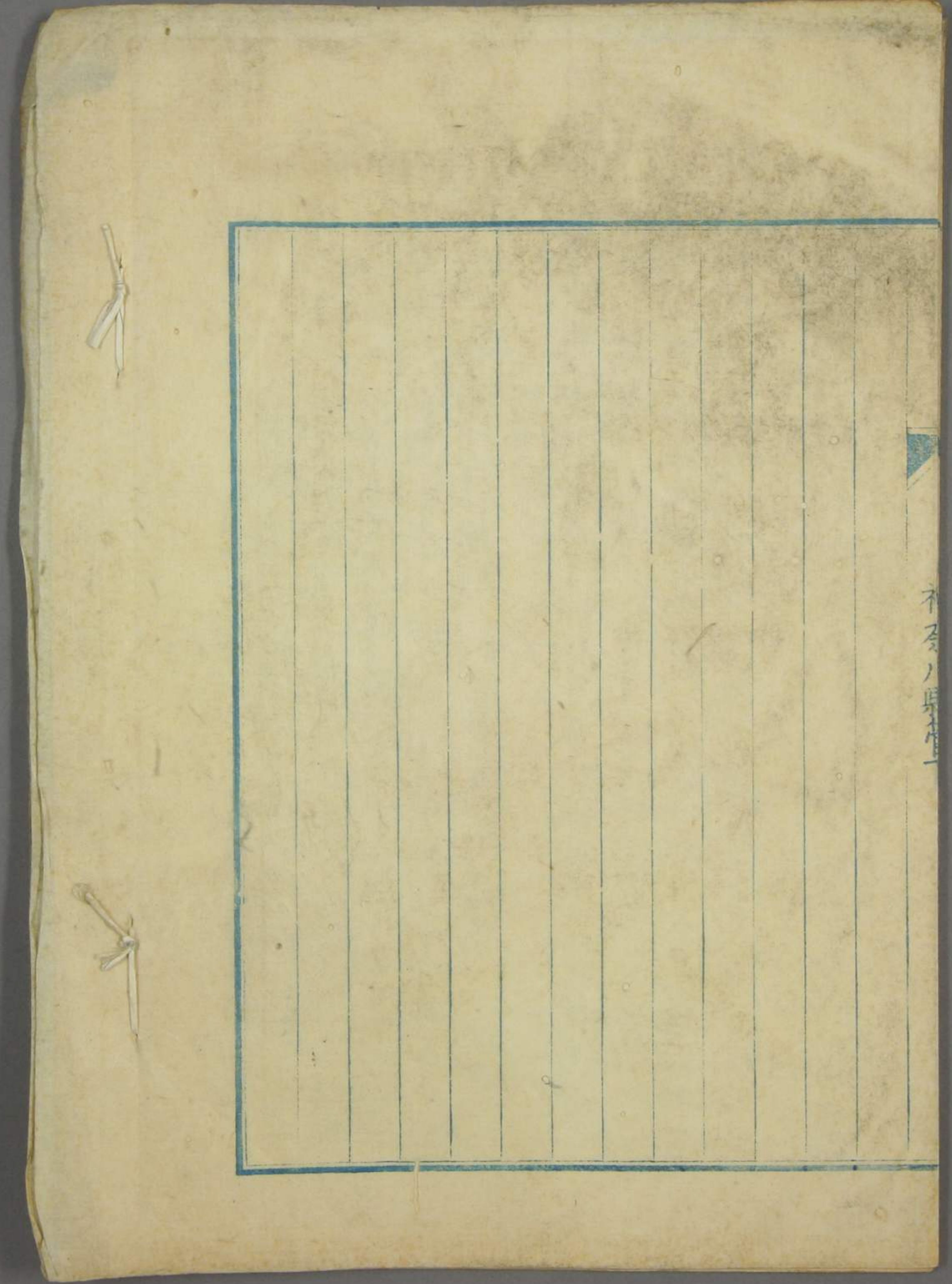
但出賣繭生皮等屑品等ニ相用候儀ハ此限ニ非ズ

第廿九條 賣買人貨物受渡シハ生糸是衡斗〇〇ノ貫目廢斗〇〇ノ類  
ハ〇ノ貫目ヲ目途トシテ貫目受渡シラスヘシ

第三十條 荷預所ハ各貨物主ヨリ領収シタル枚數及手數料ノ中ヨリ社  
費一切ヲ仕拂ヒ殘餘ヲ以テ純益トシ株高ニ應シ其配賦ヲ為  
スヘシ

第卅一條 組合株主中ヨリ頭取是名取締役或名ヲ社中ノ衆議ニ以テ  
撰舉シ荷預所一切ノ事務ヲ委任ス可シ

右卅一條ハ荷預所設立ノ要旨ニシテ追テ賣買ノ營業申合規則及倉  
庫貨物取扱規則等此要旨ニ從ヒ議定ス可シ



補  
登  
ノ  
果  
實  
一